

いなおちくしげんほぜんかい
稲尾地区資源保全会（大町市）

・組織の活動面積	A=	12	ha
・組織の構成員数	約	44	人

組織形態	農地維持 ■	資源向上(共同) ■	資源向上(長寿命化) ■
取組開始年度	平成26年～	平成26年～	平成26年～

構成員	農家、自治会、PTAほか
-----	--------------

組織の概要

稲尾地区は大町市北部にある3つの湖(仁科三湖)のひとつ、木崎湖のほとりにあり、わずか40戸ほどの集落で、平成26年度から活動しています。集落の中心を流れる一級河川、稲尾沢川が木崎湖に流れ込む際にできた扇状地にたなびく黄金の稲穂と、静かにたたずむ木崎湖の情景は何物にも代えがたい宝物です。小さな組織ですが、地域住民一丸となって、この宝物を後世に残せるように、知恵を絞って、汗をかいて頑張っていきたいと思ひます。

～稲尾の未来は、知恵と度胸と笑顔で守る～



みんなで、この地域を守る



Kトラ部隊出撃



ムラのために頑張る

鳥獣被害防止柵

・秋季に撤収します



・積雪が多い地域は、電気柵の支柱が雪解けの際に破損してしまうので、春に設置した柵を秋に撤収しています。温暖な地域にくらべて、一作業多いですが、交付金を活用してがんばります。電源は、ソーラーパネル+バッテリーを使用しています。

農村文化の伝承

・立て方の継承も必要



・おんべを正月に、圃場の中心で実施。慣例的に行っていた行事なので、本事業の計画に位置付け、後世に伝統文化として継承していく。おんべの歴史的、文化的な経緯についても学習できるよう、今後工夫していく予定。

・世代間交流の側面も

